

(研) 森林総合研究所
森林整備センター
近畿北陸整備局

「公開講演会」へ参加

平成28年10月31日(月)に、JR京都駅前の龍谷大学響都ホール校友会館で、公開講演会(主催:当研究所関西支所)が開催され、総勢150名の方が来場されました。

講演会は、森林の時間を科学する～森林の長期観測で得られた成果～をテーマに行なわれ、質疑応答のコーナーでは、スギ・ヒノキ林の土壌変化の研究に対する質問が多く、聴講者の皆様の森林土壌に対する関心の高さがうかがえました。

近畿北陸整備局では、会場に「水源林造成事業の目的と仕組み」、「水源林造成事業の取組」、「水源林造成事業の効果」についてのパネルを展示するとともに、来訪者に、奥地水源地域の民有保安林での適正な森林整備が見込めない箇所、分収方式により水源林の造成をしていること、森林の持つ公益的機能をより高度に発揮できるよう「針広混交林施業」、「複層林施業」に取り組んでいることなどの説明を行ないました。

また、松江市で11月に開催される公開シンポジウム(整備センター主催)のリーフレットも併せて配付しました。



公開講演会



パネル説明